

## 2023年度 社会福祉法人立正たちばな会における教育及び保育に関する全体的な計画

<b>教育及び保育理念</b>	心と心がここで出会い通い響きあう 大切にしよう「信じる心」 伝えよう「ありがとうの気持ち」 感じよう「つながる幸せ」 みんなが笑顔でいたいから 私たちの保育園は『心の居場所』であり続けます。			<b>保育教育の目標</b>	1.身体の丈夫な子ども 2.友だちと仲よくあそび思いやりのある子ども 3.粘り強く最後まで頑張る子ども 4.人とかかわる力、聞く力が育つ子ども														
<b>教育及び保育方針</b>	温かい人間関係のなかで愛情と専門的技術をもって安全と安心のための環境設営に充分意をはらい日常の保育・教育につとめる。			<b>保育教育の方法</b>	(乳児)3才未満児は、個々の成長発達に寄り添いながら保育を行う。 2歳児は後半より、異年齢移行に向けて小グループずつ川西れんげに移る。 (幼児)3才以上児は、個々の生活環境に即したクラス編成を行う。 また、異年齢混合保育で園生活を送る中で、後半より就学に備えて、5才児は10時から15時単独の活動となるが、異年齢の特徴をより子ども達の成長に生かすため、15時以降は異年齢クラスでの生活となる。														
<b>保育・教育の基本原則</b>	<b>保育園の社会的責任</b>			<b>保育・教育の環境</b>			<b>保育・教育の計画及び評価</b>			<b>幼児教育を行う保育園として共有すべき事項</b>									
乳幼児期における保育・教育は、人格形成の基礎を培う重要なものであり、その健全な心身の発達を図ることを目的とし、子どもの最善の利益を考慮しながら園生活を通して、生きる力を育成するものとする。	(人権尊重) 子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を行う。 (個人情報管理・苦情処理等) 児童福祉施設としての役割を自覚し子育て家庭や地域に対し、保育園の役割を果たし地域社会に貢献する			(リボン保育園) 一人ひとりの個性を大切に、子どもの成長に寄り添った5つの空間で成長を見守る。遊びのなかで好奇心をくすぐったり、少し難しいことにチャレンジしたり、少しずつ大きくなっていく過程を感じることでできる空間である。 (川西保育園) 異年齢児の集団を作ることで兄弟姉妹のような関係を経験し、子ども同士のかかわりによる自然な発達成長が生まれ豊かな人格形成の基礎が作られる。			(指導の計画) 具体的な計画・年間指導計画・月案・週案・日案 (保育教諭・保育士等の自己評価／保育園の自己評価) ・事故チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成 ・障害のある園児の指導や小学校教育への円滑な接続に向けた教育及び保育内容等に配慮する。			1.育みたい資質・能力 ・知識及び技能の基礎 ・思考力、判断力、表現力の基礎 ・学びに向かう力、人間性等 等ねらい及び内容に基づく保育活動全体によって育む。 2.幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ・健康な心と体 ・自立心 ・協同性 ・道徳性、規範意識の芽生え ・社会生活との関わり ・思考力の芽生え ・自然との関わり、生命尊重 ・数量や図形、標識や文字などへの関心、感覚 ・言葉による伝えあい ・豊かな感性と表現									
<b>養護 (保育者の 援助・関わり)</b>	<b>年齢</b>	<b>乳児</b>			<b>1歳児</b>			<b>2歳児</b>			<b>3歳児</b>			<b>4歳児</b>			<b>5歳児</b>		
	<b>生命の保持</b>	(ねらい) 人への基本的信頼感が芽生える。 (内容) 一人ひとりの生活リズムが整うよう配慮される。			(ねらい) 安定した生活の中で、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 (内容) 自分でできることを喜び、身の回りのことを自分でしようとする。			(ねらい) 気候に応じて体調管理をする。 (内容) 生活や遊びの中で自我が育つ。			(ねらい) 運動機能が高まるようにする。 (内容) 基本的な生活習慣が身につく。			(ねらい) 自ら体調の変化に気付く。 (内容) 運動量が増し、活発に活動できるようになる。			(ねらい) 健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする。 (内容) 病気と予防の関係が分かり、必要な生活習慣や態度を身に付ける。		
<b>教育 (保育者による 発達の援助)</b>	<b>3つの視点 (乳児)</b>	<b>乳児</b>			<b>1歳児</b>			<b>2歳児</b>			<b>3歳児</b>			<b>4歳児</b>			<b>5歳児</b>		
	<b>健康やかに伸び伸びと育つ</b>	(ねらい) 清潔になる事の心地よさを感じる。 (内容) 這う・歩く・くぐるなど活発な運動遊びを取り入れる。			(ねらい) 保育士への甘えや依存の要求がみだされ情緒が安定する。 (内容) スキンシップにより、保育士との関わりの心地よさや安心感を得る。			(ねらい) 子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく。 (内容) 保育士や友達と様々な遊びを楽しむ。			(ねらい) コミュニケーションを通して心の自立を育む。 (内容) 友達や年上のこどもと遊ぶことを楽しむ。			(ねらい) 多様な経験を通し自己肯定感を育み、自信や保育教諭への信頼を獲得できるようにする。 (内容) 生活の仕方が分かり、自分で考えて行動する。			(ねらい) 生活リズムに応じた活動内容の調和を図り休息がとれるようにする。 (内容) 遊びや生活の中で、危険を招く事態がわかり、気を付けて行動する。		
<b>保育をする際の配慮事項</b>	<b>健康</b>	(ねらい) 食事・排せつ・着脱など生活に必要な基本的なことを自分でしようとする気持ちを持つ。 (内容) 歩いたり、走ったりがしかりして、動物の真似をして飛んだり跳ねたりする。			(ねらい) からだを十分に動かして遊ぶことを楽しむ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。			(ねらい) 健康に過ごすことを楽しむ。 (内容) 生活に必要な活動を自分でしようとする。			(ねらい) 歯磨きを習慣化する。 (内容) 身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でしようとする。			(ねらい) 自分の体に関心を持ち、異常を感じたら自分から保育教諭等に知らせる。 (内容) 様々な用具・総合玩具を使って遊ぶ。音楽に合わせて、歩いたり、飛んだりできる。			(ねらい) 室内外の危険な物や場所・危険な行動を知り気をつけて行動する。 (内容) 色々な運動器具をよく使い、工夫して遊ぶ。		
	<b>人間関係</b>	(ねらい) 保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。 (内容) 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ。			(ねらい) 遊びのイメージを広げ、友達とかわかって遊ぶ楽しさを知る。 (内容) 生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがあることに気づく。			(ねらい) 年上の子に手伝ってもらいながら、園生活の過ごし方を知る。 (内容) 友だちと簡単なルールのある遊びをする中でルールを守れる。			(ねらい) 友達と共同で使う物を使い、楽しく遊ぶ経験をしたり、大切に扱うことを知る。 (内容) 年長児の様子を見て真似たり、年少児を遊びに誘ったりする。			(ねらい) 遊びや行動を通して友達を応援したり力を合わせる事の大切さを知る。 (内容) 年下の子に優しく接し、約束事や生活の進め方を伝えいく。					
	<b>環境</b>	(ねらい) 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。			(ねらい) 移行することに期待をもち、身の回りのことを自分でしようとする意欲を持つ。 (内容) 自分のもとの他人のものとの区別を知り、共同のもののあることも知る。			(ねらい) 身近な動植物に親しみを持ち世話をすることで生命の尊さに気付く。 (内容) 自然の大きさや美しさや不思議さに気づく。			(ねらい) 身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。 (内容) 自然物を遊びに取り入れる。			(ねらい) 身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。 (内容) 自然物を遊びに取り入れる。			(ねらい) 生活や遊びの中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。 (内容) 大きくなったことを意識して行動しようとする。話し合いながら友達と助け合って遊ぼうとする。		
	<b>言葉</b>	(ねらい) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) してほしいことやほしいものがあると言葉や身振りで伝える。			(ねらい) 生活や遊びの中で簡単な言葉でのやりとりを楽しむ。 (内容) 友達や保育士に自分の思いを言葉で伝えられるようになる。			(ねらい) 友だちの話を聞いたり、保育教諭に質問したり、興味を持った言葉によるイメージを楽しむ。 (内容) 親しみを持って日常の挨拶をする。			(ねらい) 友だちの話を聞いたり、保育教諭に質問したり、興味を持った言葉によるイメージを楽しむ。 (内容) 話しかけや問いかけに対して、適切に答えることができ、簡単な伝言ができる。			(ねらい) 保育教諭や友だちとの会話を楽しみ相手に伝えるように話す工夫をする。 (内容) 話しかけや問いかけに対して、適切に答えることができ、簡単な伝言ができる。			(ねらい) 人の話を聞いたり身近な文字に触れたりして言葉への興味をひるげる。 (内容) 見たこと聞いたことを上手に話したり、人の話を聞く。		
<b>表現</b>	(ねらい) 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。			(ねらい) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。 (内容) 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。			(ねらい) いろいろな素材や用具に親しみ、友達と工夫して遊ぶ。 (内容) 様々なものの音、色、形、手触り、動き、味、香りに気づき、驚いたり感動したりする。			(ねらい) 音楽に親しみ友だちと歌ったり合奏したりして一つの物を作り上げる楽しさを味わう。 (内容) 身近な生活経験をごっこ遊びに取り入れて遊ぶ楽しさを味わう。			(ねらい) 音楽に親しみ友だちと歌ったり合奏したりして一つの物を作り上げる楽しさを味わう。 (内容) 身近な生活経験をごっこ遊びに取り入れて遊ぶ楽しさを味わう。			(ねらい) 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わう。 (内容) 色々なものへの想像力、創造性が育つ。			
・生活リズムの安定を図り、生理的・依存的欲求を満たし、生命の保持、生活・情緒の安定を図る。		・保育士に見守られながら過ごす中で、安心して自分の気持ちを表すことができるよう自我の芽生えを大切に育む。 ・安全な環境の中で、全身を使った遊びや探索活動を促す。			・保育士との安定した関わりの中で、生活に必要な身の周りのことを自分でしよう一人ひとりのペースを尊重しながら、やる気を育てていく。 ・自己主張を促しやりたいことが十分できるような環境を工夫し、友達と遊ぶ楽しさを伝える。			・基本的な生活習慣が身につくよう、できた時は褒めやる気を育てていく。 ・子どもの興味・関心を把握しておき、遊びからたくさん学ぶことができるように配慮する。			・様々な経験を通して、生活に必要な週間や態度が身につくようにする。 ・いろいろな遊びに興味を持ち、保育教諭や友達との関わりが広がるようにする。			・人とのつながりのなかで、心豊かなこどもを育てる。					

